



自然と人とのかかわりを通して豊かな心と体を育てる

水橋幼稚園

水橋幼稚園は水橋中部小学校、水橋中学校に隣接しており、いつも子どもたちの元気な声が聞こえてきます。3年保育で今年度は年長児9名、年中児7名、年少児9名が在籍しています。海が近く水橋漁港で開催されるホタルイカ見学会には毎年、年長児・年中児が参加し、ホタルイカだけでなく深海魚等の珍しい魚にもふれ合うことができます。また散歩や親子活動等で自然にふれる機会を多くもち戸外で元気いっぱい遊び、体験したことを再現し、友達と協力して遊び場をつくり、異年齢で楽しく遊んでいます。そして年長児が楽しい遊びを教えてくれる姿に憧れをもち、年中児・年少児も意欲的に体を思いっきり動かし遊ぶことを楽しみ、体力アップにもつながっています。親子菜園では、野菜に水遣りしながら親子で野菜の生長の様子を見守り、収穫を通して野菜に親しみ、感性豊かな子どもの育成に努めています。様々な自然と人のかかわりの中で、健やかに心と体をはぐくんでいる子どもたちです。



<楽しい遊び場の様子>



「あったか言葉で心をつなぐ光陽っ子」の育成を目指して

光陽小学校

創校18年目を迎えた光陽小学校。「みんな生き生き輝いて 夢と希望にまっしぐら」の教育目標のもと、今年度「あったか言葉で心をつなぐ」を合い言葉に掲げ、豊かな心の育成を目指して、縦割り活動の充実に努めています。5月には、地域の方々に協力をいただき、縦割り班で花の苗を植え、水やり等の世話をします。また、月1回程度、長い昼休憩を利用して縦割り班の仲間と一緒に遊びます。春には校区にある布瀬南公園で、秋には太閤山ランドで、ウォークラリーをした後、広い芝生広場で思い切り体を動かして楽しみます。事前に6年生が中心となって活動の目当てを立てたり、班員全員が楽しめる遊びの内容を考えたりし、活動後には班員で活動を振り返って話し合い、団結力の高まりを実感します。このような縦割り班での交流を通して、上級生は下級生を思いやるようになり、下級生は上級生に憧れ、手本にしようとし、今後も、温かい言葉を介して心をつなぎ、「夢と希望にまっしぐら」に進んでいく光陽っ子の育成に努めていきたいと考えています。



<縦割り班で花の苗を植える子どもたち>